

環境教育

目標：尼崎の環境の歴史・現状を知り・体験し、今後の環境について考える

小学校での環境授業見学

活動の目的

- ・尼崎市の未来を担う子どもたちに、環境への关心と行動力を育てるここと
- ・ごみの減らし方や地球温暖化の問題をわかりやすく伝え、持続可能なまちづくりを目指す

活動の流れ

① 大学内での事前学習

- ・尼崎市の環境の現状と歴史について学習
- ・オープンカレッジで行う授業の内容を事前に練習



出典：尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ所蔵



まがさき環境教育プログラムの受講風景

② 尼崎環境オープンカレッジでの交流

- ・「めざせ！エコあまレンジャー」の講義を受講
- ・教室での実習を通して、環境教育の指導方法を練習
- ・地域の方々と交流しながら、授業内容を確認・実践

③ 小学校での授業見学、T小学校での見学・体験

- ・環境教育を担当する先生方の授業を観察
- ・子どもたちが体験的に環境を学ぶ様子を見学
- ・授業のクイズに参加

学びと気づき

① 環境問題の理解

ごみの量、CO₂の影響、地球温暖化について、児童向けにわかりやすく説明する工夫を学んだ

② 教育の工夫

映像やワークショップを通して、「知る・考える・行動する」を子どもたちに体験させる方法を観察できた

③ 体験学習の重要性

理論だけでなく、児童自身が実際に行動することで環境への意識が高まることを理解した

見て、感じて、学んだ幼稚園の一日

【幼児期の環境教育研修会にボランティアスタッフとして参加】

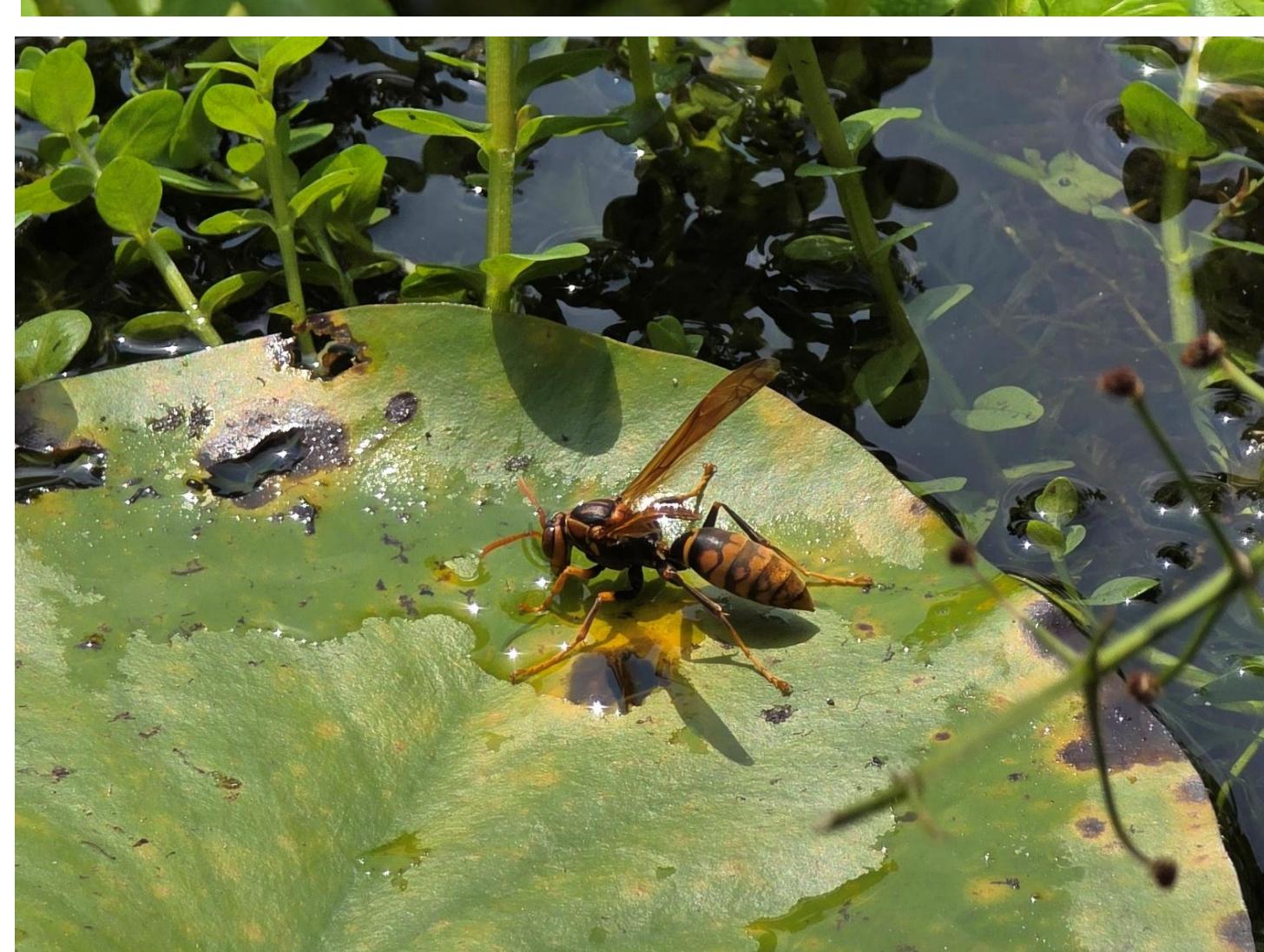
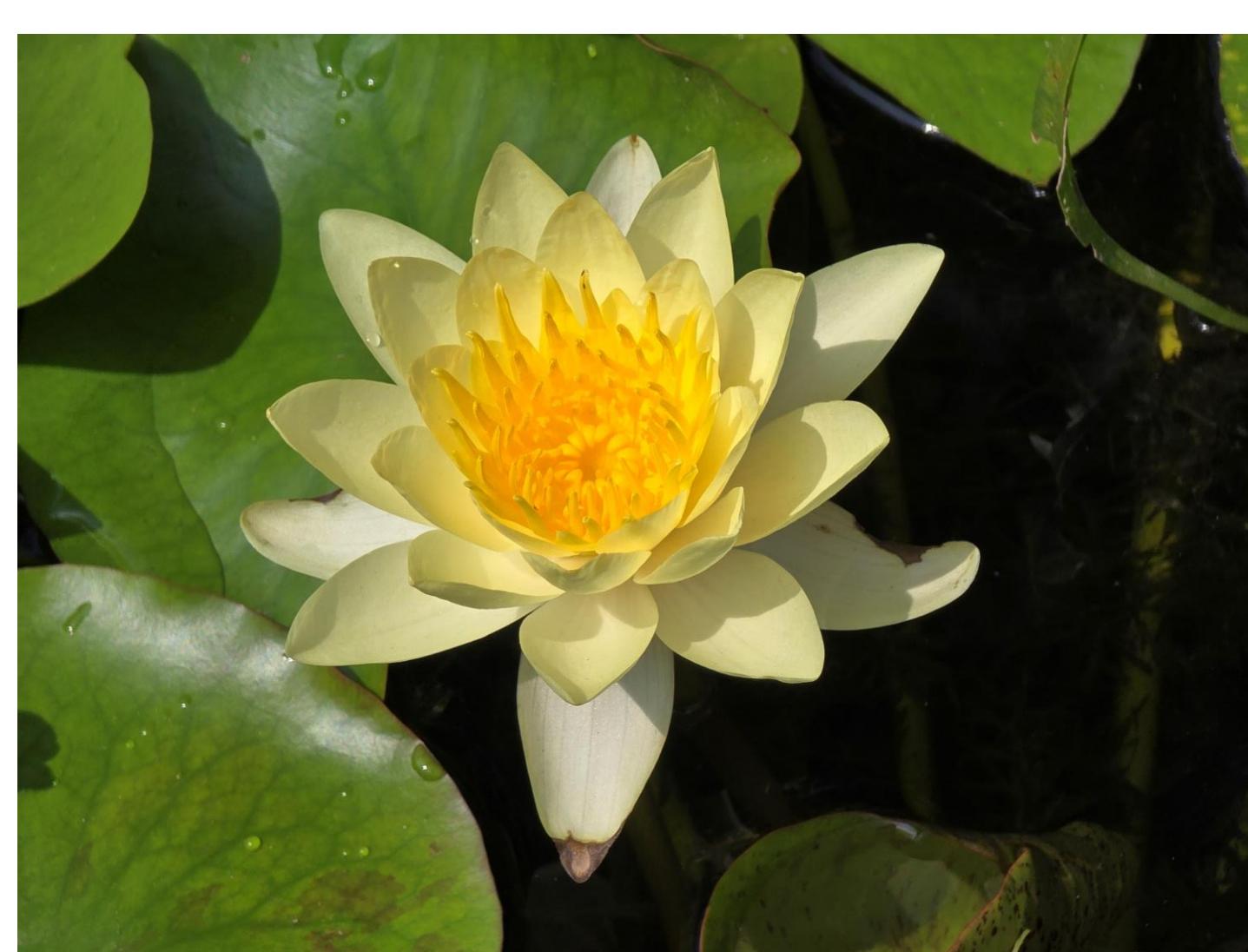
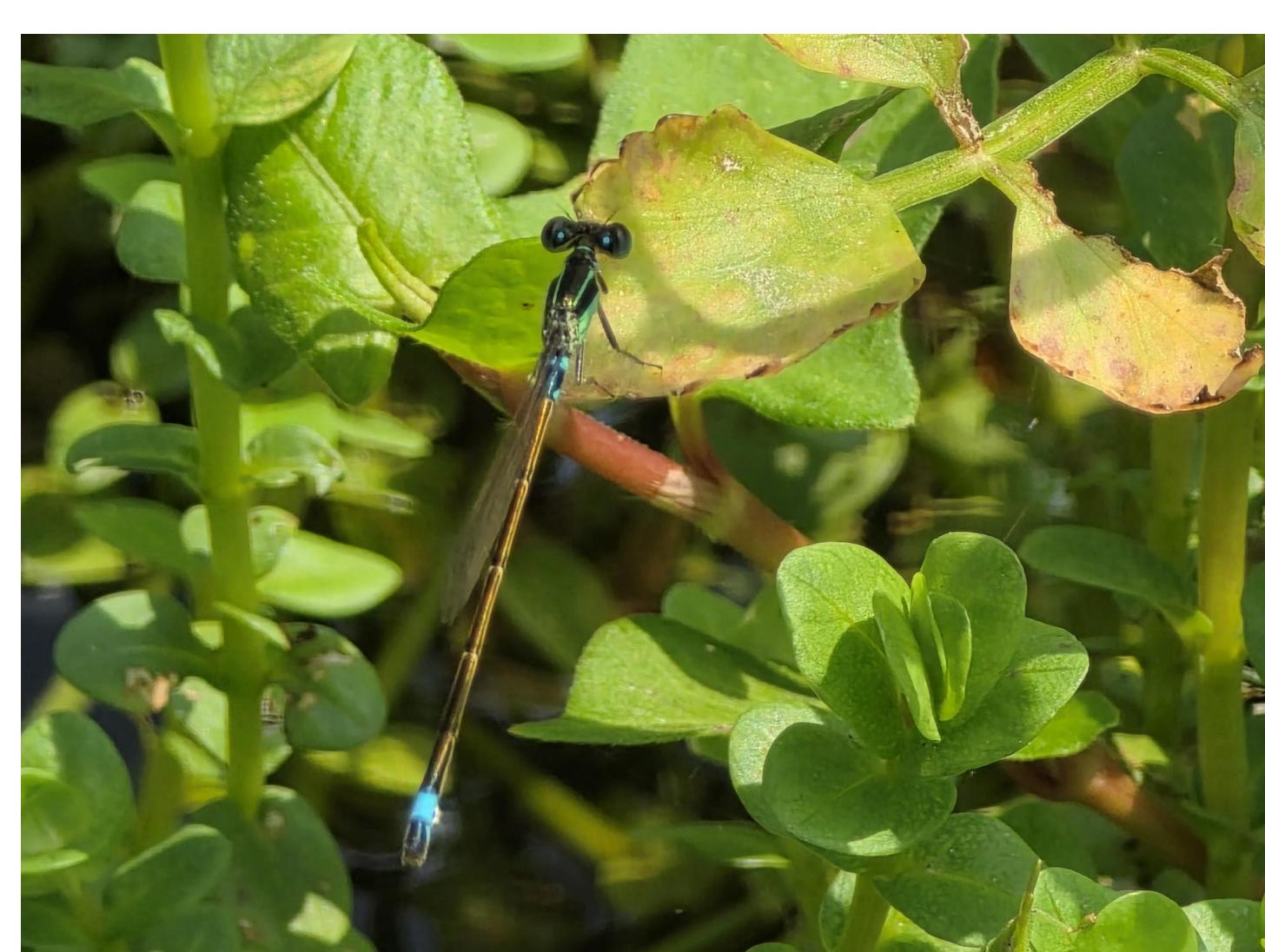
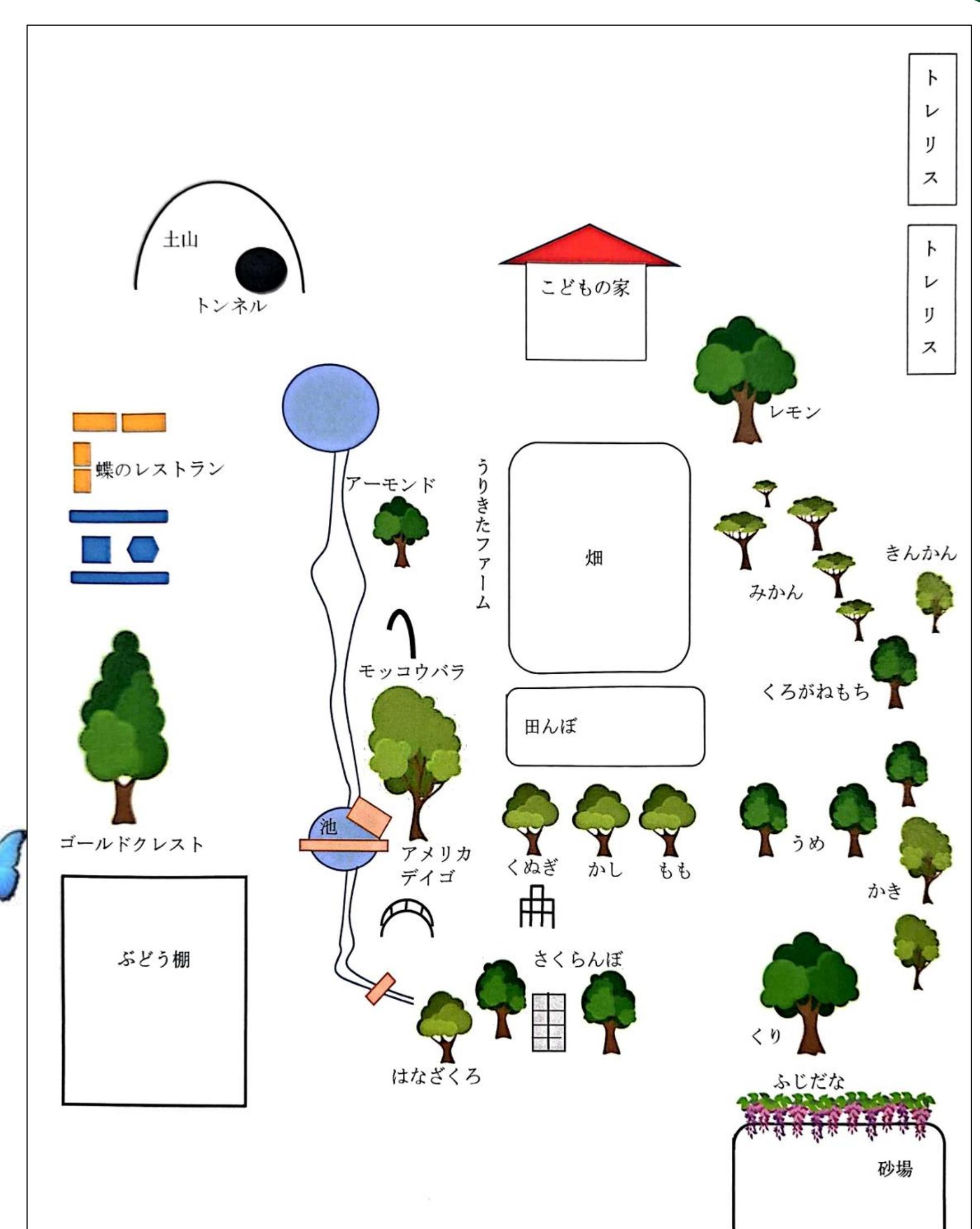
●研修会の概要と活動内容

- ・参加者（主に幼稚園の先生）の誘導と会場の環境整備を行った
- ・午前中は園児を説明役として、右図の園庭ビオトープの見学
- ・午後は園長先生、保育園の理事長、大阪府の環境部局の職員からの講演
- ・最後に、幼稚園の先生たちとグループに分かれ、各園でどのような環境教育を実践していくのかを話あった

●園児の様子と学び

- ・園庭では、たくさんの植物や昆虫を見ることができた
- ・子どもがガイド本の内容を説明、楽しそうにちょうどよをつかまえていた
- ・いちばんびっくりしたのは、田んぼがありお米を育てていること！
- ・日本の教育コミュニティの「リアルな姿」を感じることができた

意味がない木？・・・



尼崎の自然とふれあう一日！環境ツアー

尼崎市で開催された「尼崎環境スポットツアー」に参加し、地域の自然と環境活動に触れる貴重な体験をしました。

①エコひょうご尼崎発電所で学ぶ再生可能エネルギー

阪神尼崎駅に集合した参加者たちは、まず「エコひょうご尼崎発電所」を訪問。太陽光発電の仕組みや、環境にやさしいエネルギーの重要性について学び、持続可能な未来への理解を深めました。

②尼崎の森中央緑地で自然再生活動を体感

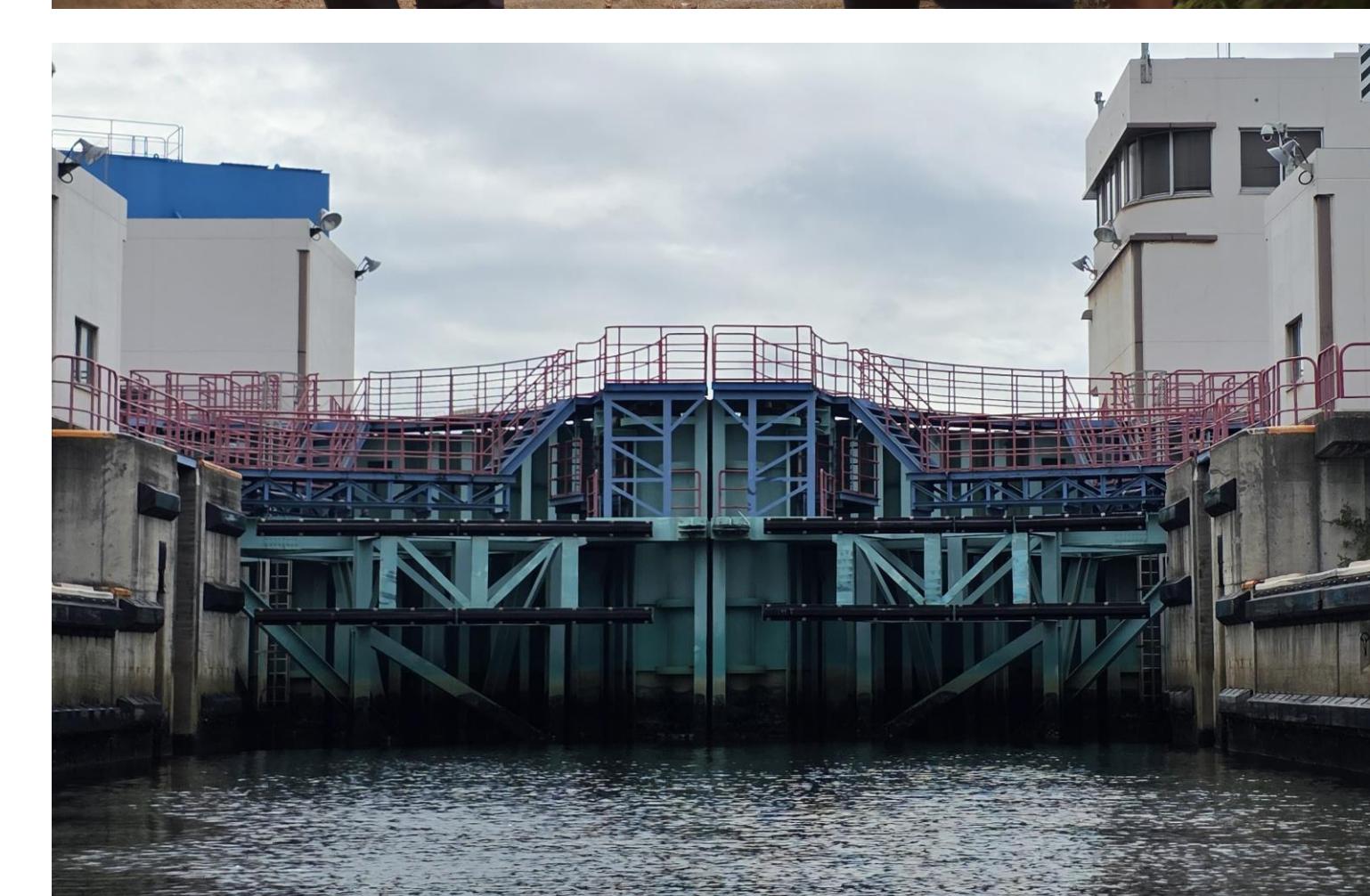
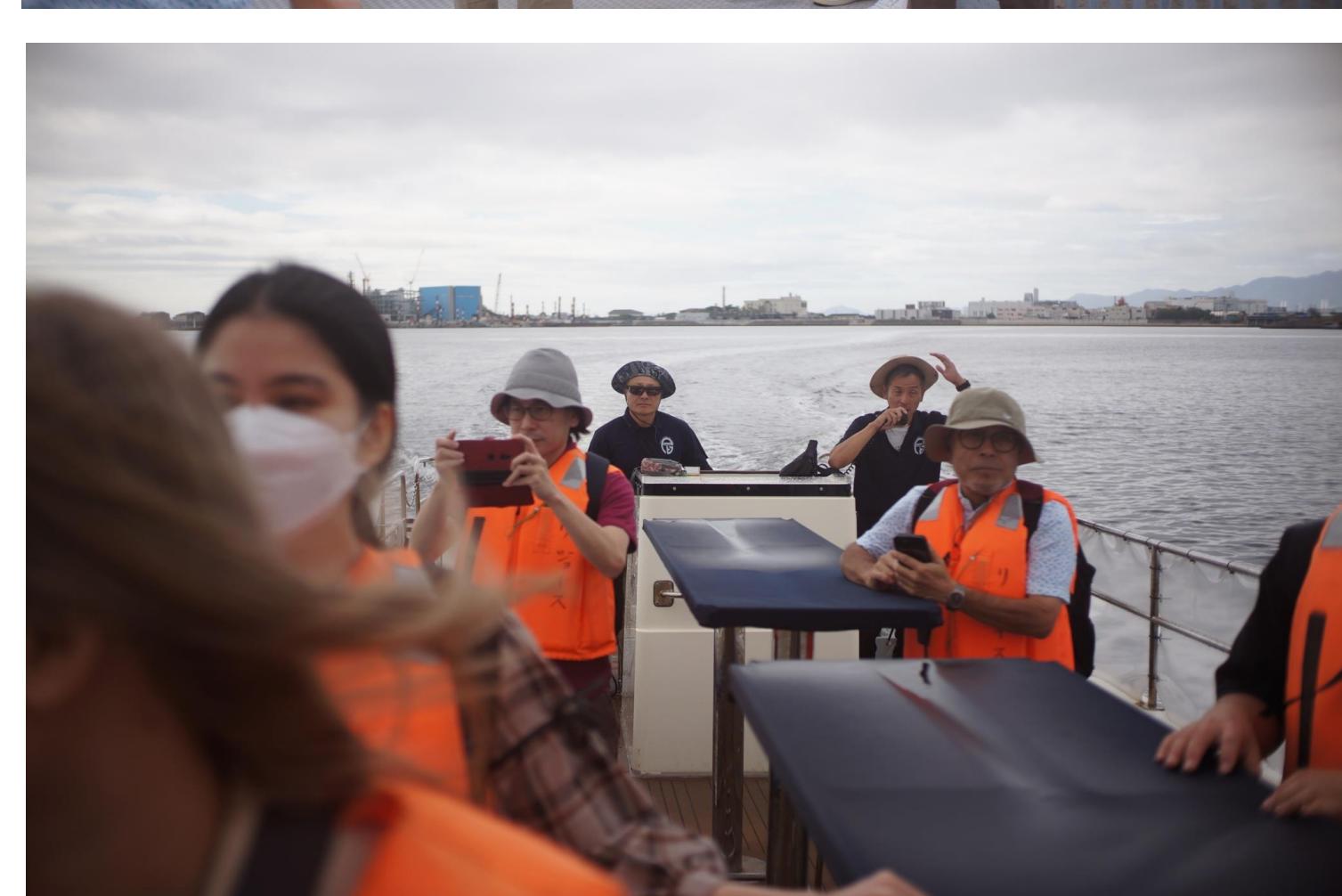
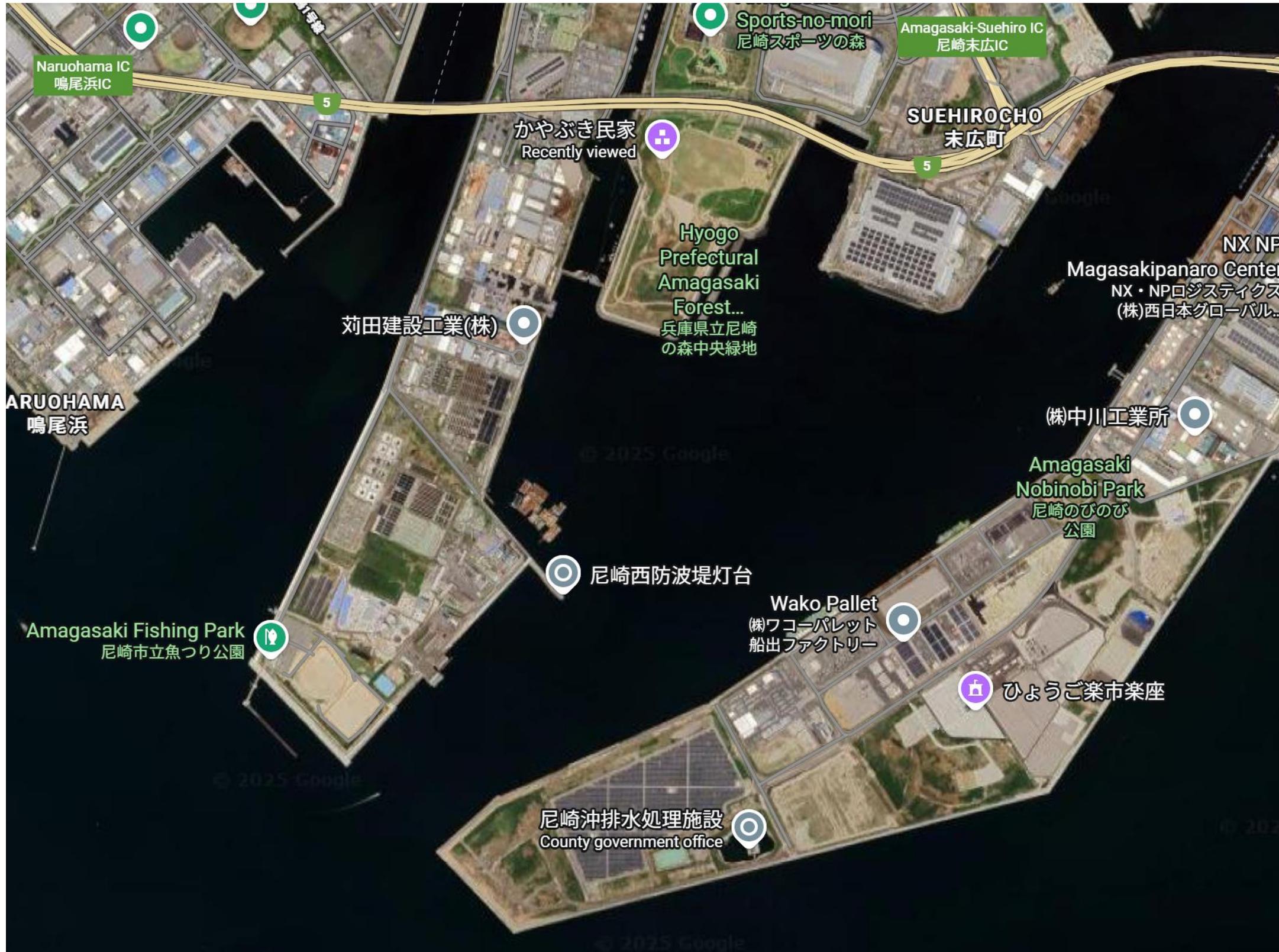
続いて訪れたのは「尼崎の森中央緑地」。地域の方々による森の再生活動や、歴史ある古民家の見学を通じて、自然と人との共生の大切さを実感。参加者からは「地域の努力に感動した」との声も。

③武庫川渡船で運河クルーズ体験

「武庫川渡船」に乗り、爽やかな海風を感じながら運河クルーズを満喫。船上から眺める景色は格別で、尼崎の水辺の魅力を再発見するひとときとなりました。

④魚釣り公園で新鮮な魚料理を堪能

ツアーの締めくくりは「魚釣り公園」での昼食。新鮮な魚料理に舌鼓を打ち、自然の恵みに感謝する時間となりました。



●まとめ

小学生、幼稚園児、先生、地域のボランティアスタッフ（エコアマレンジャー）のみなさんの環境・環境教育への意識の高さと、小さなころから体験しながら学ぶ尼崎の環境教育について、深く知ることができた。

私たちもゴミやエネルギーのこと、森や自然を守ることに関して多くの学びがあり、尼崎の環境だけでなく、母国も含めもっと関心を持って、学び・貢献していくようにしたい。